

こだわりの現場①

大手ハウスメーカーへの施工協力で培った確かな技術と品質。
プロの職人たちが技を競い合います。

50年以上の施工実績を礎により 良い現場を追求

家づくりは“現場が基本”です。管理が行き届いていない現場は、いくら素晴らしい設計や仕様も台無しにしてしまう恐れがあります。

ヨークベルは「交洋建設」時代から50年以上続けた技術を基礎に、大手ハウスメーカーへの施工協力で得た技術と品質管理を組み合わせ、より良い現場を追求しています。

また、現場近隣にお住まいの方もお客様と考え、ご迷惑を最小限にする配慮とご挨拶はもちろんのこと、事前に工事説明を行いご理解いただくことでトラブルを防ぐように努めています。



プロの職人たちが 競い合うこだわりの施工

自由設計の「リボンの家」は一棟一棟工事内容が異なり、時として設計段階では想定できなかったトラブルも起こります。そんな現場でも問題を解決しスムーズに進行させるのは、現場監督と各工程を受け持つ職人や納材スタッフたちの息の合ったチームワークであり、それぞれの創意工夫です。そのスタッフたちの心に共通しているのが、お客様に良い家を引き渡したいという熱い思い。様々な役割のプロたちがプライドとこだわり、そして情熱を持って良い仕事を競い合う、それが「リボンの家」の現場です。

こだわりの現場②

職人紹介



【基礎職人】 河本 好広

建物を支える一番大事な基礎を作る仕事です。中学の先輩から誘われこの仕事を始めました。

見えなくなるところにも手を抜かず、鉄筋を一本一本丁寧に組んでいくのがこだわり。いつも自分がそこに住むつもりで仕事をしています。楽しみは、無事完成した後の仲間との乾杯！基礎工事でも現場の美しさやマナーが大事ということを若い人に伝えて、紳士的な職人を育てていきたいです。



【塗装工】 毛利 胤吉

塗装とは、ペンキで家をきれいに塗る仕事。今は家をお化粧していますが、昔は化粧品会社に勤め女性の顔をお化粧したこともあるんですよ（笑）仕事をしていて、色がバッチリ決まった時は快感！お客様が笑顔になることを第一に考え、見えない部分までしっかりと気を配り仕事をしています。将来、一人娘がパティシエ（お菓子の職人）になった時、そのお店をデザインして塗装するのが夢です。



【屋根板金工】 二階堂 秀彦

24歳にバイクのレーサーを引退するまで、屋根板金会社と二足のわらじ生活を送っていました。それから、人生に焦りを覚え屋根板金業で独立。以後、がむしゃらに働いて従業員も増えました。現場では、「きれいに、正確に、速く」をモットーに、お客様に喜ばれる仕事を心がけています。若手職人たちが一人前に育ってくれることが夢であり、その若手職人たちと夢を語り合う時が一番幸せです。